



2013年開催 新美南吉生誕100年記念イベント

- 新美南吉生誕100年没後70年記念
五木寛之講演会
3月24日(日)／雁宿ホール(半田市福祉文化会館)
人間のエゴと美しい生き方を描く南吉文学を、作家・五木寛之氏が語る。
 - 生誕100年記念特別展
7月13日(土)～10月27日(日)／新美南吉記念館
南吉文学とふるさと知多半島との関わりを紹介。
- 【新美南吉生誕祭】※会場は雁宿ホール。

 - 開幕式典・ことばの杜朗読会
7月27日(土)
元NHKアナウンサーと市内の小学生らによる南吉作品の朗読会。
 - 生誕100年記念シンポジウム
8月3日(土)
南吉童話における、声に出し、耳から味わうことの大切さを考えるシンポジウム。
 - 南吉の愛したクラシック音楽
8月4日(日)
名古屋フィルによる演奏と中京テレビアナウンサーによる南吉作品の朗読。

※この他にもたくさんのイベントが予定されています。

Q 南吉生誕100年 | 検索



新美南吉記念館

■所在地
〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1
TEL: 0569-26-4888
URL: <http://www.nankichi.gr.jp>

■開館時間
9:30～17:30

■休館日
毎週月曜日・毎月第2火曜日(祝日・振替休日)
のときは開館し、その翌日が休館となる)・年末年始

■観覧料
210円(中学生以下無料)
団体20名以上は各160円

100年記念イベント

新美南吉生誕100年を迎えるにあたって、同館が掲げたのは「初めての南吉、再び出逢う南吉」という言葉だといいます。子どもには、これを機に南吉の作品に巡り会ってほしい、大人にはもう一度接してみたいという願いが込められています。子どもの頃、だれもが一度は触れたこと

があるはずの南吉の世界ですが、時を経て、大人になってから再会すると、また違った印象や味わいを感じるはず。南吉の大切にしたこと、語りかける言葉が、違う響きをもって届いてくるかもしれません。生誕100年をきっかけに、子どもと大人に、南吉作品を間に置いて、語り合ってもらえたらという思いのもと、魅力的な展覧会やイベントがさまざまに企画されています。



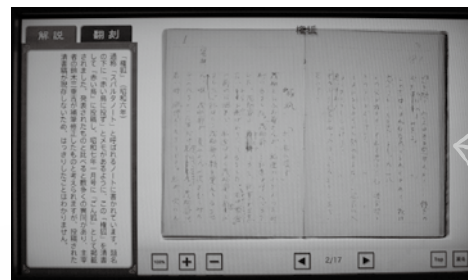
「手袋を買いに」の帽子屋

作中、子ぎつねが手袋を買い求めた帽子屋の正面部分が、原寸大で再現されている。隣に作りつけられた本屋の入り口は、図書室への入り口となっている。



「ごんぎつね」のはりきり網

展示室内には、兵十が魚を捕るときに使っていたはりきり網の実物が展示されている。写真やイラストでは分かりにくい、大きさや質感を確かめることができる。



「ごんぎつね」草稿

デジタル資料閲覧コーナーでは、南吉直筆の原稿や手紙などをスキャニングした画像を閲覧することができる。ノートに書かれた「ごんぎつね」の草稿が、全ページにわたって閲覧可能となった。

展示リニューアル

芝生で覆われた波打つような屋根をもつ新美南吉記念館。南吉が生まれ育った愛知県半田市岩滑の田園風景と調和するように、建物全体を地下に埋めるデザインとなっています。一九九四年六月の開館以来、多くの入館者が訪れる場所です。

同館では、先頃、二〇一三年の新美南吉生誕100年に先立って、大がかりな展示リニューアルを行いました。南吉やその作品の理解、また、授業のための教材研究に資する展示も、これまで以上の充実ぶりを見せています。その主な内容をご紹介します。

新美南吉記念館へ行こう



「新美南吉記念館」(愛知県半田市)では、新美南吉の生誕100年を記念して、さまざまなイベントが企画されています。この機会に足を運び、南吉が育った半田市の空気と風を感じてみてはいかがでしょうか。

